



2020年5月25日

各位

会社名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード：3202 東証・名証各第1部)
問合せ先 取締役上席執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6557)

繰延税金資産の取崩し及び業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年3月期決算において繰延税金資産を取崩すことを決定したことに伴い、2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

新型コロナウイルス感染症の現下の状況等を踏まえ、将来における繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2020年3月期決算において繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額113百万円を計上することといたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 2020年3月期通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,400	460	240	230	7.69
今回実績 (B)	4,819	407	228	75	2.54
増減額 (B-A)	△581	△53	△12	△155	
増減率 (%)	△10.8	△11.5	△4.9	△67.0	
前期実績 (2019年3月期)	4,496	327	236	294	9.86

(2) 差異の理由

(連結)

売上高につきましては、消費増税の影響と期末の新型コロナウイルス感染症の影響により各事業部門において計画を下回ったことに加え、繊維・アパレル事業のユニフォーム部門において大口の案件が来期にずれ込んだことなどが響き前回予想を 581 百万円下回り（前回予想比 10.8%減）、営業利益も減収に伴い前回予想を 53 百万円下回りました（前回予想比 11.5%減）。経常利益は支払利息が予想を下回ったものの、営業利益の減少をカバー出来ず前回予想を 12 百万円下回りました（前回予想比 4.9%減）。

これに、PCB（ポリ塩化ビフェニル）処理費用につき環境対策引当金繰入額 36 百万円を特別損失として計上し、さらに「1. 繰延税金資産の取崩しについて」に記載のとおり、当社において繰延税金資産を取崩したことに伴い法人税等調整額 113 百万円を計上したため、税金関連費用が予想比 106 百万円増となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を 155 百万円下回りました（前回予想比 67.0%減）。

以上